

保育者の思い

楽しみにしていることや知っていることを話したり、冬の行事などに興味をもったりしてほしいと思いました。

園にサンタさんが来てくれることに期待をもったり、自分のプレゼントバッグをつくることを楽しんだりしてほしいと思いました。

・自分の知っているサンタクロースのイメージを言葉にして伝えてほしいと思いました。  
・友達と共に通のイメージをもったり、伝え合う楽しさを感じたりしていると思い子ども達の様子を見守りました。

サンタやトナカイになりきって友達と一緒に言葉のやりとりやその場の雰囲気を楽しんでいると思いました。またソリを引っ張って歩きたい子どもの思いを受け止め、場を確保したり、遊びに使えるようなものを準備したりして子ども達の思いを実現できるようにしました。

お家の方へ

知っていることを保育者や友達に話したり、イメージに合ったものをつくりたい使いたいという思いが増えたりしてきました。お家でも子どもたちの思いを聞いたり、一緒に遊んだりしてみてください。

エピソード

12月に入り寒くなったり、絵本から冬を感じたりしている子どもたちに、①「12月ってどんな楽しいことがあるの？」と問いかけると…

数日後、5歳児さんが保育室にサンタさんから届いた手紙を見せに来てくれたり、「プレゼント入れてほしいな」とプレゼントバッグをつくりたりして過ごしていました。

遊びの時間にAちゃんが「サンタさんになりたいな」とつぶやいたことから、②「サンタさんになりたいの？サンタさんってどんな感じ？」と問いかけると、AちゃんやAちゃんの周りにいた友達も話し始めました。

「サンタの帽子つくりたい」「ぼくはトナカイになりたい」と自分のなりたいものを話し、帽子やトナカイの角をつくり身に着け「メリークリスマス！」「サンタさんは“おほほ”って言うねん」と言葉を真似て遊び始めました。また、段ボールのソリを引っ張って鈴を鳴らしたり、サンタやトナカイになりきったりして遊ぶことを楽しんでいました。



- ・知っていることを話す
- ・友達の話していることを聞いて、興味や関心が広がっている  
(知識の共有・伝える楽しさ)



- ・サンタさんが来てくれることを知り、喜ぶ
- ・絵の具やクレパスを使ってプレゼントバッグをつくることを楽しむ  
(異年齢とのかかわり・期待・つくる楽しさ)



- ・自分の知っていることを話す。
- ・友達とイメージを共有している  
(イメージの共有・伝わる嬉しさ)



- ・イメージに合ったものをつくりたり使って遊ぶ
- ・気持ちを合わせて引っ張る
- ・その場の雰囲気を共有し楽しむ  
(雰囲気を楽しむ・気持ちを合わせるイメージの共有)